【視察調査報告書】

会　派　名	八王子市議会公明党
参 加 議 員	1名　冨永純子
日　　程	令和６年（2024 年）8 月 19 日（月）
詳　　細	
視察日及び視察先	8 月 19 日（月）江戸川区発達相談・支援センター
視 察 内 容	発達相談・支援センターの取組みについて
概　　要	・江戸川区は、人口 69 万人　江戸川区発達相談・支援センターのほか、江戸川区篠崎児童発達支援センター・葛西児童発達支援センターの 3 施設がある。 ・江戸川区発達相談・支援センターは、2020年 4 月　ADDS（慶応義塾大学発達心理研究室 NPO 法人）が指定管理を受託して開設した。 ・専門職は心理士17名・保育士 6 名・理学療法士2名・作業療法士2名・言語聴覚士2名・看護師2名・社会福祉士1名、計画相談員3名など、大変に充実した支援体制である。 ・児童療育事業は、個別指導と集団指導があり、個別指導には、親子共学個別療育「ぺあすく」、「ぴあ型個別療育」、「予約制コンサルテーション」がある。 ・集団指導には、毎日通園クラス（原則週5日クラス）、短時間通園クラス（1回60分、3～6名で集団適応やコミュニケーション支援）、スクールトライアルクラス（1 回60分、3～6名で就学に必要なスキルの習得を支援） ・個別指導「ぺあすく」は、保護者同伴で通所し、担当指導員は応用行動分析や発達心理学の知見に基づき、子どもをオーダーメイドの個別療育と、保護者が家庭で療育を実践するためのサポートを行う。1回80分1年間実施。 ・個別指導「ぴあ型個別療育」は、「ぺあすく」を終了した方が対象で、保護者と同伴で通所して、週 1 回少人数で、ぺあすくの個別支援を引継ぎ、直接支援を提供する。1 回 80 分 ・個別支援「予約制コンサルテーション」は、「ぺあすく」を終了した方が、家庭療育の継続支援を目的に、ニーズに応じたコンサルテーションを行う。

	・発達障害相談事業は、18 歳未満の方に関する相談（ないろ）、および18歳以上の方の発達に関する相談（発達障害相談センター）がある。 ・乳幼児施設巡回支援事業、幼稚園等保護者向け出前講座＆相談会を実施、計画相談支援事業、保育所等訪問支援事業を実施 ・ 【質疑応答】 問）発達相談件数は。 答）1,000～1,200 件。 問）主な相談内容。 答）保育園や幼稚園で指摘をうけたが、本当に支援が必要かどうか知るため第3の視点で見立て希望が多い。さらに行動上の心配、育てにくさがある。忘れ物や手をつながないなどがあり、発達相談を希望される。 問）発達検査数は。 答）300件ほど。 問）この 4 月から篠崎児童発達支援センターを開設しているが、3 施設目を開設した理由は。 答）必要としている子どもが増えている。もともとあった育成室を発展させて、児童発達支援センターを開設した。区長の英断であった。 問）大変充実しているセンターであるがその経緯は。 答）江戸川区は昔から子育てしやすい地域との思いが強かった。子どもが増えていくにあたって、子どもの育てにくさで困難を抱えている人の声が届くようになった。その後、発達相談支援センターが立ち上がっていった。これだけ早いスピードで立ち上がったのは、区長の考えであったと思われる。 問）質の高い支援を提供している ADDS さんは、児童発達支援センター開設にむけて、区長の英断のほか、職員の動きなど、どのようなことがあったのか。 答：施設長）職員はよく勉強している。答：区職員）区民の方のニーズを児童発達支援センターに相談すると、そのニーズを受けてくれる。それで運営がうまく回っている。スピード感もある。施設職員の意気込みを感じている。 問）なぜ ADDS さんが指定管理者と選定されたか、その理由は。 答）エビデンスの基づく支援を行なっているから。 問）指定管理料はどのようになっているか。 答）発達相談・支援センター運営費が、257,243,295 円、発達相談・支援

	センター維持管理費は、13,780,493 円。 問）国や都の補助金はどのようなものがあるか。 答）国補助金：児童虐待防止対策等総合支援事業。 都補助金：障害者施策推進区市町村包括事業・児童発達支援センター地域体制強化事業・発達相談等巡回支援専門員整備事業・障害児通所支援事業所における送迎バス等安全対策支援事業。
所　感　等 （意見・課題・本市への反映など）	江戸川区発達相談・支援センターは家族支援として、行動分析に基づいて行う ABA を取り入れております。発達特性を見極め、適切な支援を保護者に理解・実践していただく効果は、大変有効であります。施設の大きな強みである心理士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の専門職が充実しており、発達相談、発達検査、専門性のある療育、計画相談支援、18歳以上の相談までワンストップでかつ、質の高い事業が展開されておりました。 令和6年第3回定例会の一般質問において、発達支援の質の向上について質問するにあたり、視察内容を紹介させていただき、今後の児童発達支援センターのありかたについて提案させていただきました。

江戸川区発達相談・支援センター